

NPB ガールズトーナメント 2026 アフターマッチファンクション (AMF) 実施要項 (案)

目的

野球（スポーツ）では、両チームが全力で戦うことで、勝ちと負けの結果が表れます。喜びと悔しさがチームと選手の成長を促します。学童野球においては、仲間との交流を通じた人間的な成長を重視することが、上達にも効果的であると考えます。共に戦った仲間として、お互いを称え合い、指摘・助言をすることで双方のチーム、選手の意識向上や仲間づくりに有益であり、何よりもスポーツマンシップを理解することが青少年少女の健全育成に有効と考え本プログラムの導入を行います。

アフターマッチファンクション (AMF) について

ラグビーの文化で試合後に行われる交流会です。交流会には、両チームの選手の他、大会関係者、チームスタッフ、審判員などが参加し、選手同士が健闘を称え合い、ねぎらいの言葉を掛けて親睦を深めます。同じ試合を作った仲間として、交流を図り、次の試合や練習に向けたスイッチを入れます。スポーツマンシップ理解や実践にも有効な機会として取り入れられています。

対象試合

- 8月25日(火) 準々決勝4試合
マイネットスタジアム皇子山／草津グリーンスタジアム／カローラ滋賀はちまんスタジアム／ひばり公園湖東スタジアムにて各1試合ずつ
- 8月26日(水) 準決勝2試合
マイネットスタジアム皇子山／草津グリーンスタジアムにて各1試合ずつ

参加者

- 対戦2チームのベンチ入り選手全員（最大50名）
 - 監督、コーチも立ち会いは可能とします。（発言はお控えください）
 - 保護者の見学も可能としますが、子ども達の交流の機会という前提をご理解ください。
 - 進行役は、JSPO コーチ 3 資格保有者（1 試合につき、2 名配置）

会場

- マイネットスタジアム皇子山
- 草津グリーンスタジアム
- カローラ滋賀はちまんスタジアム
- ひばり公園湖東スタジアム

形式および内容

- 試合終了後、着替え、水分補給を済ませ、20分後を目安に AMF 実施会場へ集合（係員が誘導します）
- 進行役の AMF 実施主旨説明
- 対象チームのベンチ入り人数に応じて、5名～10名の小グループにて当該試合、相手チーム、その他についてグループトークを行いグループ発表
- 両チームの主将による相手チームへの激励挨拶
- 総括として、進行役の挨拶
- 記念撮影 ※全体で計20分程度を想定
- 解散

2023 大会実施の様子

